

平成 17 年 4 月

試験研究業務月報



丹後地域の乾燥・粉碎したカニ殻(左)、粉碎し鶏の飼料用に(右)

課題名 丹後地域のカニ殻有効活用に向けて

要 旨

カニ殻は年間 1,500 t 排出され、地域では有効活用を目指した研究会が活動されています。

カニ殻にはカルシウムやキトサンが多く含まれ、鶏の飼料としての利用可能性があり、採卵鶏へ給与して卵質改善や免疫増強の効果について検討することとしています。

京都府畜産技術センター